

2018年3月期 (平成30年3月期)

第2四半期 決算経営報告

PART - 1. 第2四半期決算概要

PART - 2. 第2次中期経営計画 進捗状況

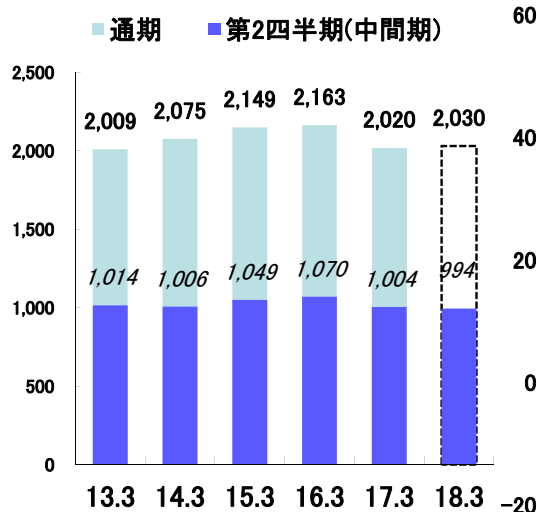
2017年11月28日
三菱製紙株式会社

2018年3月期 第2四半期 決算実績

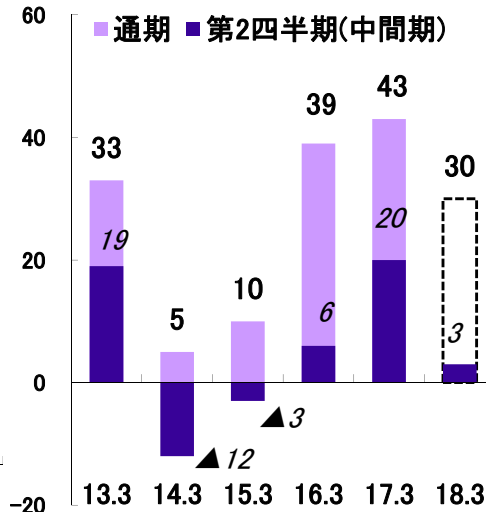
(単位 : 億円、%)

	2017年3月期 第2四半期累計期間		2018年3月期 第2四半期累計期間		前年同期比	
	金額	売上高利益率	金額	売上高利益率	金額	増減率
売上高	1,004	—	994	—	▲10	▲1.0
営業利益	20	2.0	3	0.3	▲17	▲84.7
経常利益	5	0.5	3	0.3	▲2	▲37.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3	▲0.3	▲4	▲0.4	▲1	—

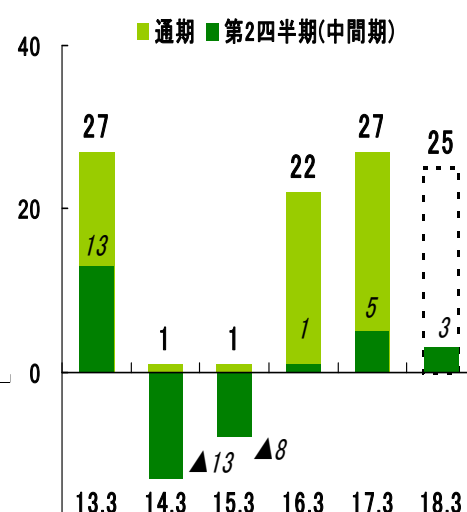
売上高



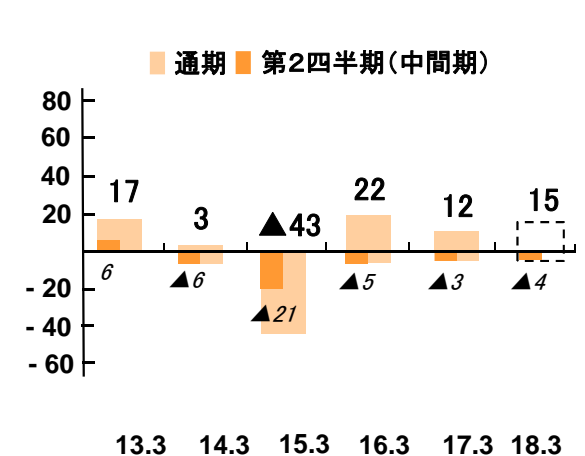
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



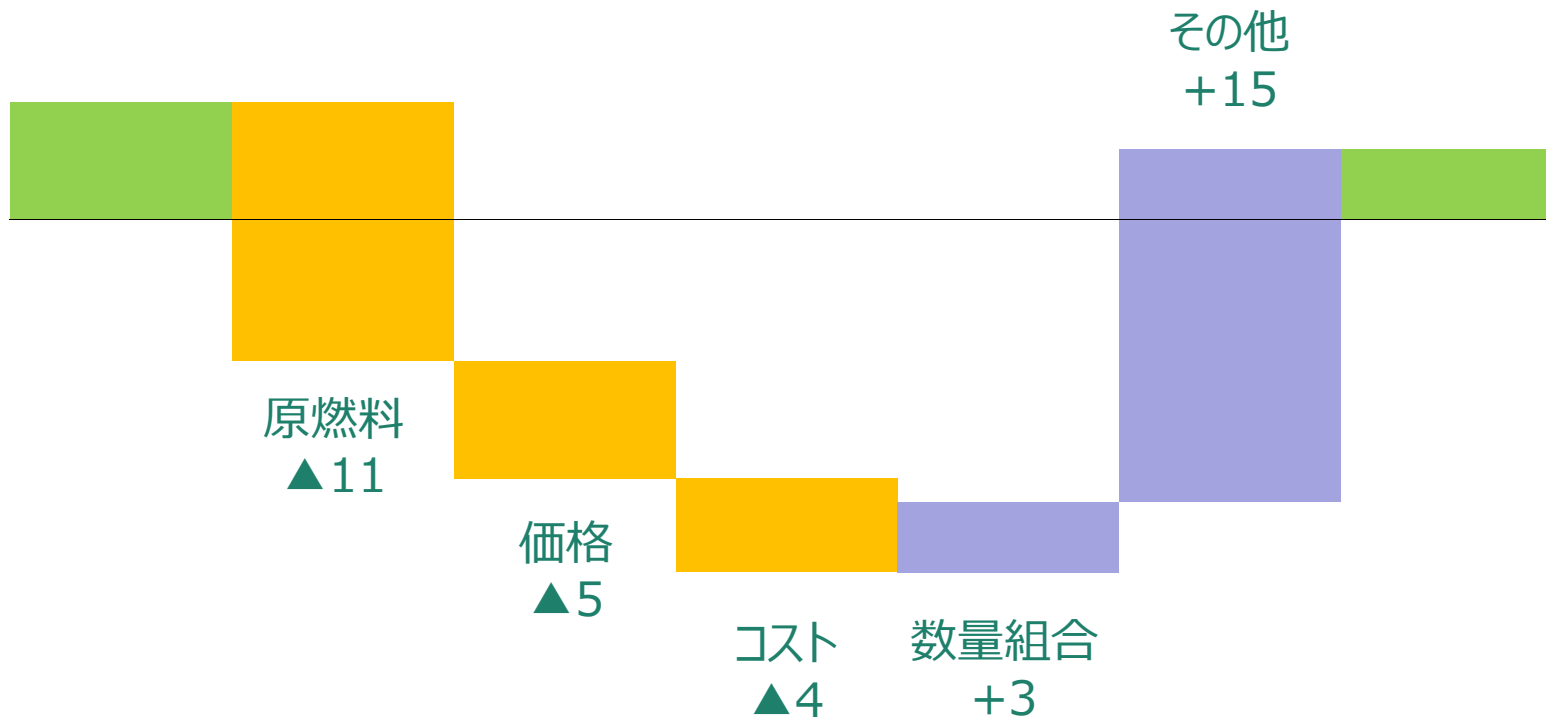
(単位：億円、%)

		2017年3月期 第2四半期累計期間	2018年3月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	紙パルプ	754	747	▲7	▲1.0
	イメージング	193	187	▲6	▲2.6
	機能材	84	86	2	3.0
	その他	85	89	4	5.0
	消去	▲112	▲115	▲3	—
	合計	1,004	994	▲10	▲1.0
営業利益	紙パルプ	8	▲5	▲13	—
	イメージング	6	1	▲5	▲85.9
	機能材	5	7	2	46.6
	その他	1	1	0	17.7
	消去	0	▲1	▲1	—
	合計	20	3	▲17	▲84.7

2018年3月期 第2四半期累計期間

17年3月期上期
5億円

18年3月期上期
3億円



(単位：億円、%)

	2017年3月末		2017年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
資産合計	2,359	100.0	2,376	100.0	17
流動資産	1,038	44.0	1,059	44.6	21
固定資産	1,321	56.0	1,317	55.4	▲4
有形固定資産	1,041	44.1	1,018	42.8	▲23
無形固定資産	3	0.1	15	0.6	12
投資その他の資産	277	11.8	284	12.0	7
負債合計	1,793	76.0	1,811	76.2	18
流動負債	1,074	45.5	1,120	47.1	46
固定負債	719	30.5	691	29.1	▲28
純資産	566	24.0	565	23.8	▲1
有利子負債	1,257	-	1,218	-	▲39

(単位：億円)

	2017年3月期 第2四半期累計期間	2018年3月期 第2四半期累計期間	増減
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	122	85	▲37
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲46	▲44	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲91	▲42	49
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲5	3	8
現金及び現金同等物の増減額	▲20	2	22
現金及び現金同等物の期首残高	114	108	▲6
現金及び現金同等物の期末残高	94	110	16

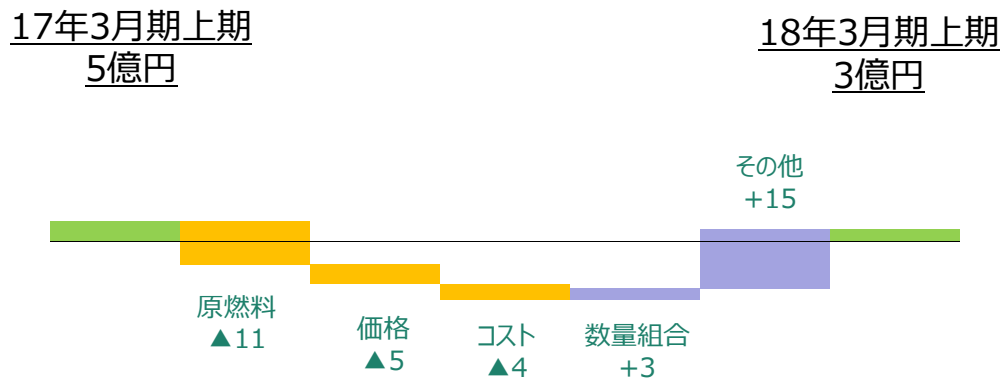
2018年3月期
通期業績予想

(単位：億円、%)

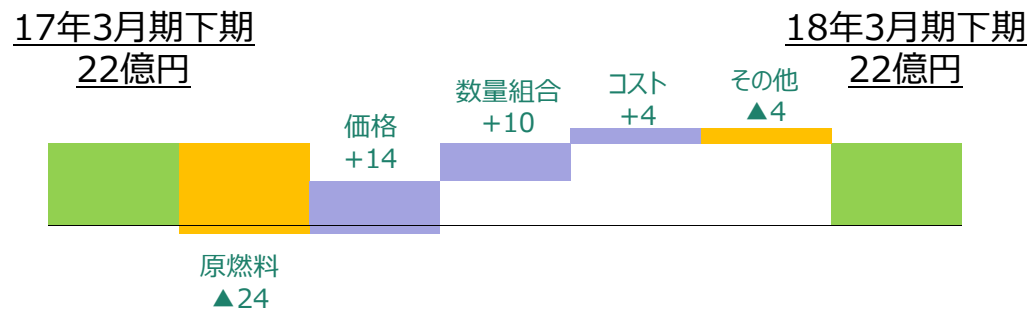
	2017年3月期			2018年3月期			増減					
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期		下期(予想)		通期(予想)	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,004	1,016	2,020	994	1,036	2,030	▲10	▲1.0	20	2.0	10	0.5
紙パルプ	754	750	1,504	747	778	1,525	▲7	▲1.0	28	3.8	21	1.4
イメージング	193	196	389	187	193	380	▲6	▲2.6	▲3	▲2.0	▲9	▲2.3
機能材	84	86	170	86	89	175	2	3.0	3	3.4	5	3.2
その他	85	77	162	89	76	165	4	5.0	▲1	▲2.1	3	1.6
消去	▲112	▲93	▲205	▲115	▲100	▲215	▲3	-	▲7	-	▲10	-
営業利益	20	23	43	3	27	30	▲17	▲84.7	4	15.6	▲13	▲30.5
経常利益	5	22	27	3	22	25	▲2	▲37.4	0	0.0	▲2	▲7.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲3	15	12	▲4	19	15	▲1	-	4	32.6	3	30.1

下期予想の前提： 1 \$ = 115円、 1€ = 125円、 ドバイ原油相場 1 バレル = \$ 50

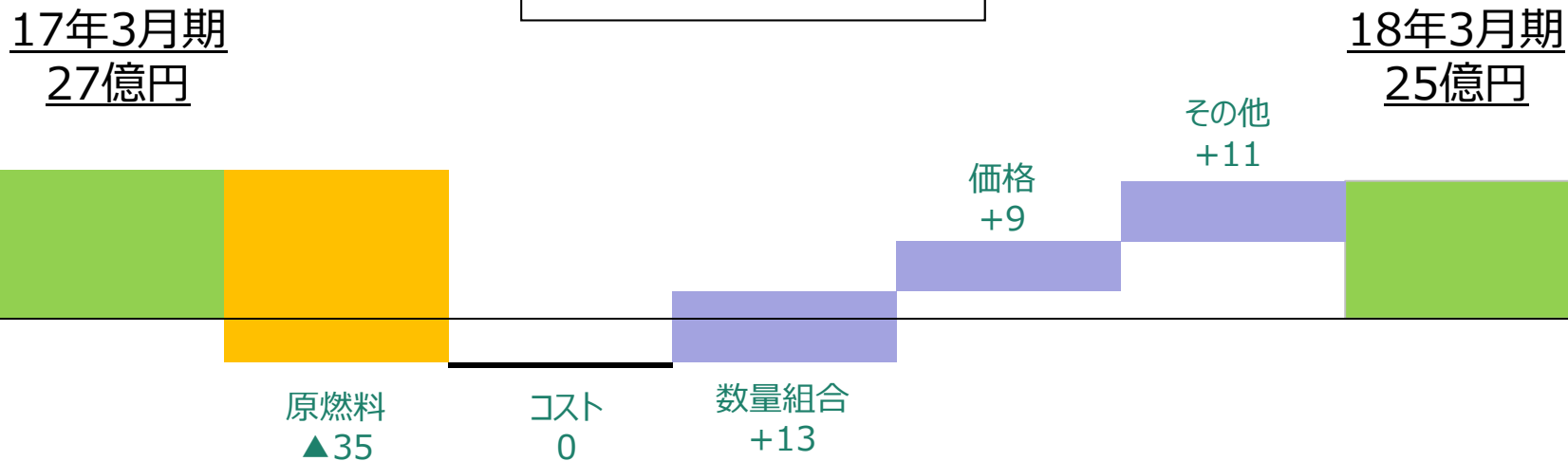
上期比較 (実績)



下期比較 (予想)



通期比較 (予想)



	2017年3月末	2017年9月末	2018年3月末 (予想)
有利子負債	1,257億円	1,218億円	1,200億円
減価償却費	105億円	52億円	105億円
設備投資額 (計上ベース)	60億円	42億円	70億円
従業員数	3,734人	3,747人	3,800人

第2次中期経営計画 進捗状況

① 洋紙事業の構造改革

- 徹底した構造改革、王子グループとのアライアンス強化により、外部環境に左右されにくい安定収益構造を実現する。
- 流通体制・物流体制の最適化を図る。

② 収益基盤の充実

- 富士フイルム(株)とのアライアンスを強化し、効率的生産体制を構築する。
- 三菱製紙の強みとポジショニングを活かした収益基盤事業を充実させる。

③ 新規事業の育成

- 王子グループと共同でバイオマス発電事業を立ち上げる。
- 新規事業を戦略的に育成する。
- 注力分野に対して、厳選された戦略的・選択的な投資を行う。

④ 収益力を支える業務基盤・財務基盤の強化

- 事業構造の改革に向けて業務プロセス・IT基盤の再構築を図る。
- 震災前レベルまで圧縮した有利子負債の削減を進め、財務基盤を更に強化する。

アライアンスによる収益の安定化

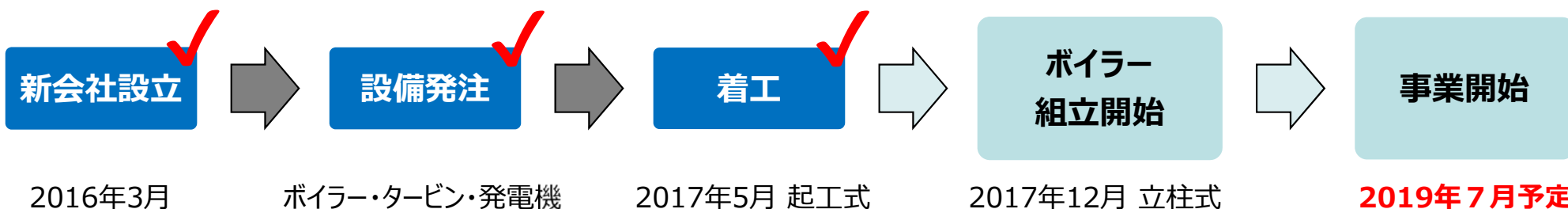
王子グループとの共同バイオマス発電事業の立ち上げ

概要 … FIT制度を活用 バイオマス発電 国内最大級

- 会社名：エム・ピー・エム・王子エコエネルギー
(三菱製紙45%、王子グリーンリソース55%出資)
- 設備能力：約75,000 kW (発電能力)
- 売上高：約110億円
- 投資額：240億円 (ボイラー、タービン等の主要設備はリース)

進捗状況

5月に着工し、基礎工事は順調に進捗



王子グループとの家庭紙合併事業の立ち上げ

概要 ... 臨海工場の恵まれた立地 ⇒ コスト競争力のある生産体制
販売は東北地区中心 ⇒ 物流面で大きなメリット

- 会社名 : エム・ピー・エム・王子ホームプロダクツ
(三菱製紙70%、王子ネピア30%出資)
- 所在地 : 三菱製紙八戸工場 構内
- 生産品種 : ティッシュ、トイレットロール
- 生産量 : 約18,000 t /年
- 投資額 : 約50億円



進捗状況

土工工事及び設備の発注先を選定中

合併会社発足

2017年6月

誘致企業認定

2017年9月
青森県、八戸市
立地協定 調印式

着工

2018年1月

事業開始

2019年4月予定

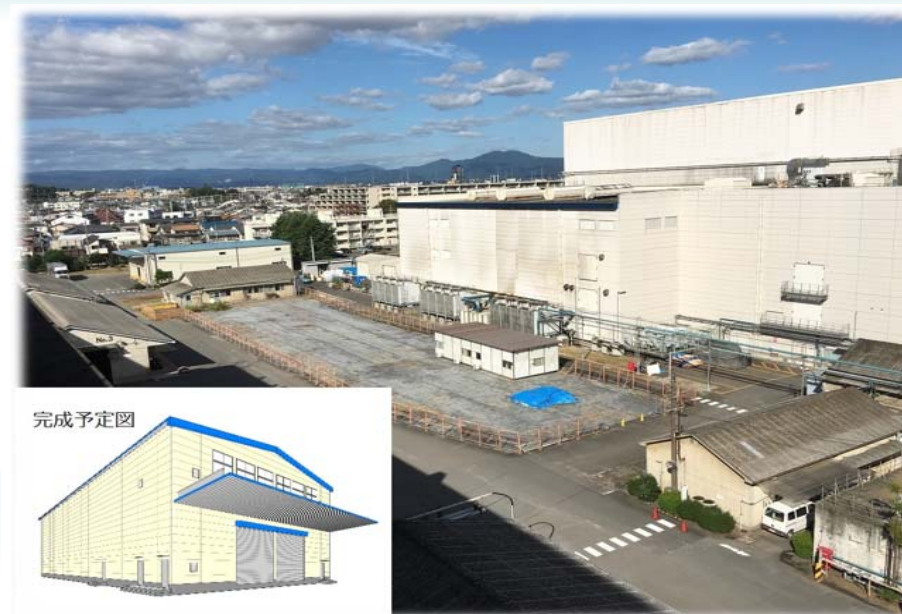
京都工場に機能性フィルム塗工設備（コーター）を新設

概要 … イメージング事業における新商品の開発と新分野での展開

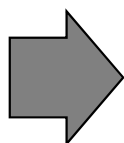
- 設置場所 : 三菱製紙 京都工場
- 生産品種 : 機能性フィルム製品
(エレクトロニクス関連商品ほか)
- 売上高 : 約20億円
- 投資額 : 約15億円

進捗状況

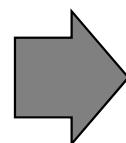
基礎工事を開始



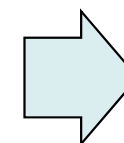
設備設計



設備発注



着工



営業運転

2017年9月

2017年10月

2017年11月

2019年1月予定

デジタル捺染デモセンターを高砂工場内に設置

概要 … 天然繊維をターゲットとした熱圧転写方式のデジタル捺染システムを実演【IJプリント→転写→蒸し】工程のデモが可能




スチーマー（手前）と熱圧転写機（奥）

ガーメントプリント工房「b-side」をダイヤミックに設置

概要 … ダイヤミックに、多様なガーメント（衣料）印刷システムを完備Tシャツ1枚から注文を受付中



ガーメントIJプリンター

領域	考えられる用途	特長	中計前半の取り組み	中計期間中の目標
デジタル捺染紙	 捺染したテキスタイル	▶ 新開発の綿生地用のIJ捺染紙	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリエステル生地用【昇華転写紙】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 米州向けOEM供給を開始 ⇒ 各種プリンターに対応した銘柄を拡充 ・綿生地用【熱圧転写紙】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 北米の試験導入先を選定済み 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 高砂工場内に設置するデモセンターを活用し、開発の促進と販売の拡大 ⇒ OEM先との連携も強化

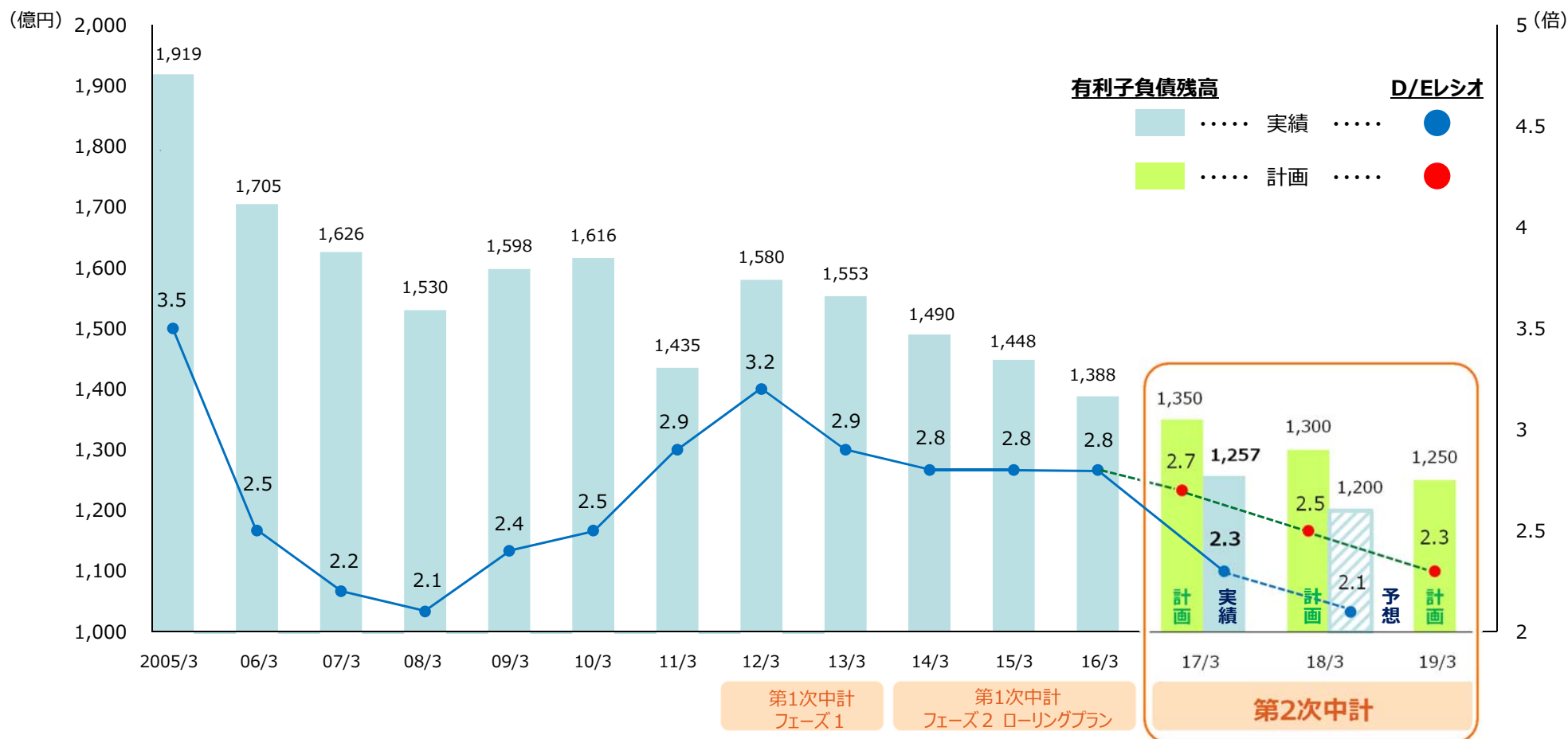
(単位：億円)

	第2次中計1年目				第2次中計2年目			3年目
	2016年3月期	2017年3月期			2018年3月期			2019年3月期
	実績	計画	実績	差異	計画	予想	差異	計画
売上高	2,163	2,200	2,020	▲180	2,250	2,030	▲220	2,300
営業利益	39	45	43	▲2	55	30	▲25	65
経常利益	22	25	27	2	35	25	▲10	45
有利子負債	1,388	1,350	1,257	93 削減	1,300	1,200	100 削減	1,250
D/Eレシオ (倍)	2.8	2.7	2.3	0.4 改善	2.5	2.1	0.4 改善	2.3

		第2次中計 前提数値	2017年3月期 実績	2018年3月期 上期実績	2018年3月期 下期設定
為替	米ドル	115円	109.03円	111.42円	115円
	ユーロ	125円	119.37円	126.63円	125円
原油	ドバイ	45 \$/BBL	46.95 \$/BBL	50.13 \$/BBL	50 \$/BBL

財務基盤の強化 – 震災前レベルまで圧縮した有利子負債の削減を進め、財務基盤を更に強化

	2016年3月末 実績	2017年3月末 実績	2017年9月末 実績	2018年3月末 計画	2018年3月末 予想	2019年3月末 計画	中計3カ年の 改善幅
有利子負債	1,388億円	1,257億円	1,218億円	1,300億円	1,200億円	1,250億円	138億円 削減
D/Eレシオ	2.8倍	2.3倍	2.2倍	2.5倍	2.1倍	2.3倍	0.5 改善



基本戦略

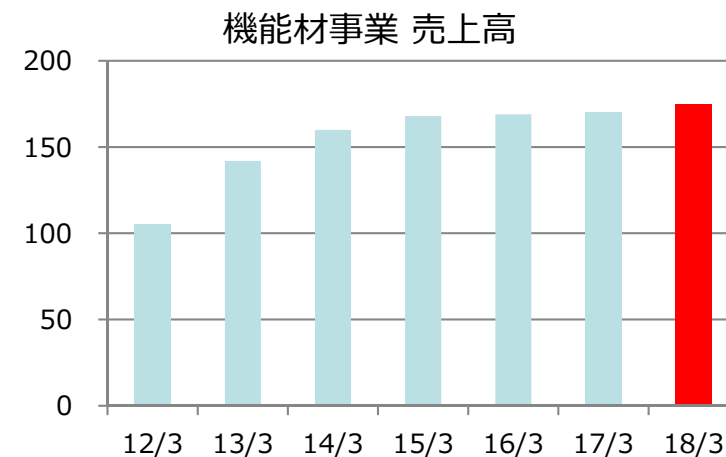
外部環境に左右されにくい安定した収益構造の構築

重点課題	中計前半の取り組み	中計期間中の目標
OEMの戦略的拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・王子グループとのアライアンスを推進 	⇒ アライアンスを推進し、情報・特殊紙を増販
工場稼働率の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・OEMや輸出等の拡大により、フル操業を維持 	⇒ OEMや輸出等の拡大によりフル操業を継続
製販一体による サプライチェーン効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・販売/生産体制の機能合理化を推進 ・配置最適化、直送強化により、在庫削減 	⇒ 販社との役割見直しによる効率化の推進 ⇒ 物流体制最適化による在庫削減の推進
製品価格改定	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷用紙 決着 ・情報用紙、白板紙は引き続き取組中 	⇒ 印刷用紙、情報用紙、白板紙の価格改定
ドイツ事業の収益力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・選択受注を実施 ・安価原材料調達、製造歩留向上 ・新商品の受託塗工開始 	⇒ 価格重視の販売政策 ⇒ 資材、製造部門、エネルギーでのコストダウン ⇒ 新商品の市場投入と拡販

イメージング事業	中計前半の取り組み (数値は18/3上 実績)	中計期間中の目標
アライアンスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> 富士フィルムとのアライアンス拡大により写真用原紙の供給量は前年同期比 1.1倍 	⇒ アライアンスを一層強固にして、写真用原紙の生産・供給量を更に拡大
既存商品の拡充	<ul style="list-style-type: none"> アジア向 RCベース IJ の売上数量は前年同期比1.3倍 デジタルシルクスクリーン製版機 (MDS-360) 発売開始 無線綴じ製本機を投入するなど新たな分野を開拓 	⇒ アジアほか新興国で RCベース IJ の売上数量を毎年、前年比 1.1倍で拡大 ⇒ MDS-360を、主に国内で 100台以上設置 ⇒ 印刷後加工機材のラインアップを充実
機能材事業	中計前半の取り組み (数値は18/3上 実績)	中計期間中の目標
不織布関連商品の更なる成長	<ul style="list-style-type: none"> 水処理膜支持体の売上は16/3期比 (月平均) 1.4倍 バッテリーセパレータは国内大手電池メーカーで小型動力用電池に採用 	⇒ 水処理膜支持体は売上を 2.3倍 ⇒ バッテリーセパレータは売上を 3倍
アジア・欧州市場での販売拡大	<ul style="list-style-type: none"> フィルター：ASEANローカル家電メーカー (インドネシア) より脱臭フィルターを受注。全熱交換商品の海外売上は16/3期比 (月平均) 4倍 テープ原紙：欧州市場での売上は16/3期比 (月平均) 1.4倍 リライトメディア：中国行政系企業より大口新規案件を受注 客船用ICカード向け (欧州) を受注 	⇒ 家電向けのアジア拡販、キャビンフィルターの中国市場開拓、全熱交換商品の中国・欧米拡販 ⇒ 欧州市場での売上 1.5倍 ⇒ 中国拡販とASEANでの商品立上げ
業務基盤の強化	中計前半の取り組み	中計期間中の目標
業務構造改革	<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセス・IT基盤再構築プロジェクト推進中 	⇒ 経営戦略に柔軟に対応できる業務基盤の整備完了

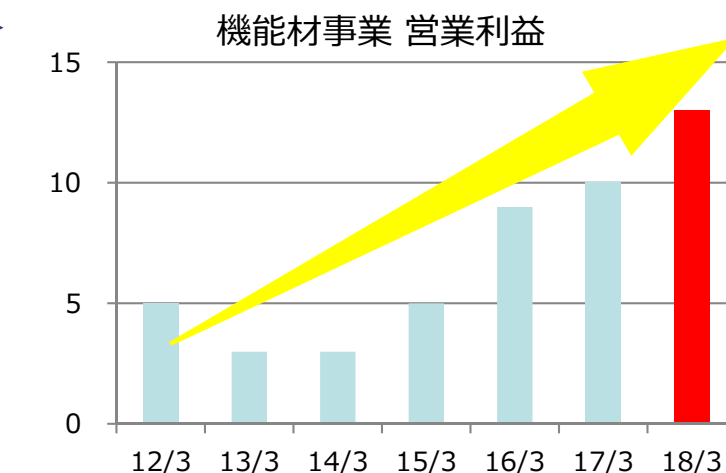
(単位：億円、%)

売上高	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
全社	1,949	2,009	2,075	2,149	2,163	2,020	2,030
機能材	105	142	160	168	169	170	175
比率	4.7	6.2	6.8	7.0	7.1	7.6	7.8



第2次中計

営業利益	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
全社	22	33	5	10	39	43	30
機能材	5	3	3	5	9	10	(13)
比率	19	9	62	51	23	23	42

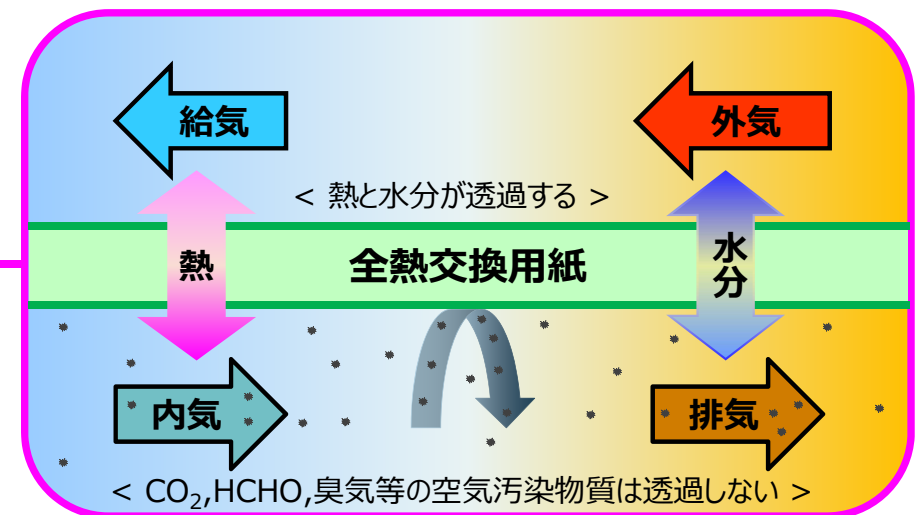
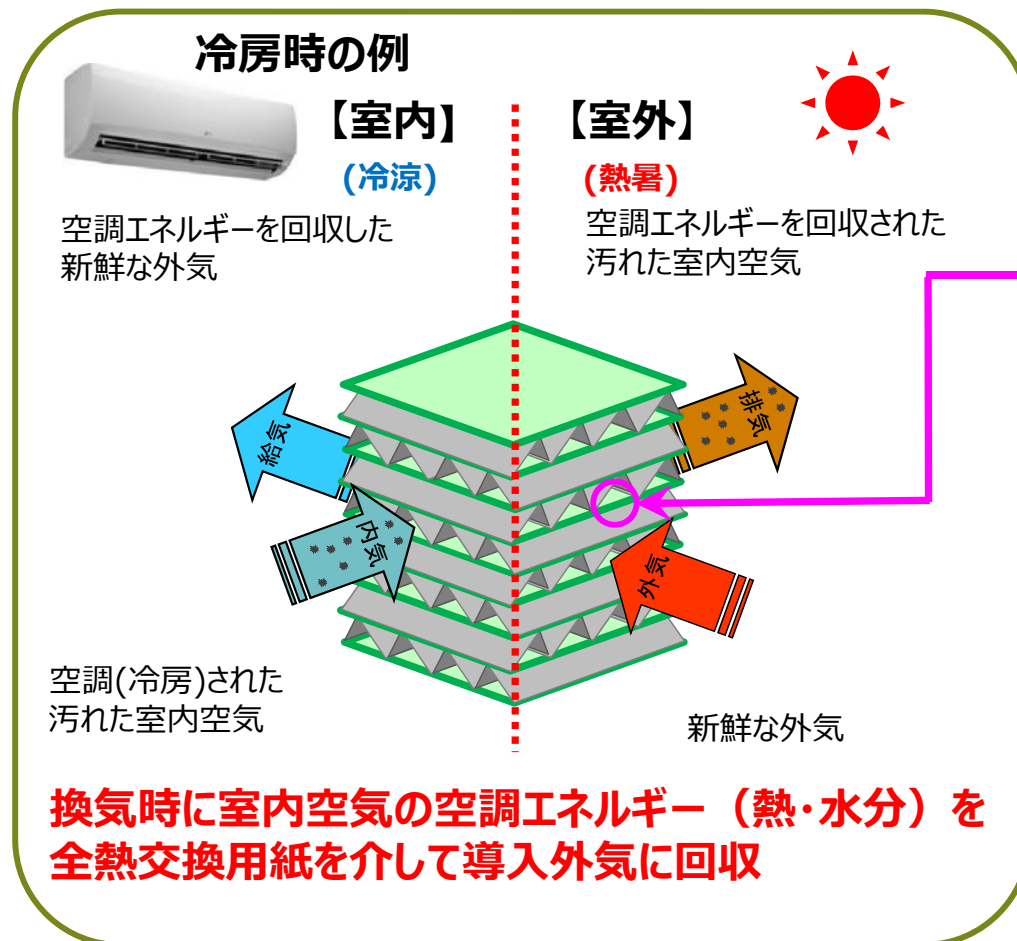


- ・12/3期 下期（2011年10月）より、KJ特殊紙が連結対象となる
- ・18/3期 機能材事業の営業利益は、上期実績の2倍として表記

売上は全社の10%に満たないが、利益では洋紙事業を補完する事業へと着実に成長




当社独自の特殊薄葉紙を活用した全熱交換用紙・エレメント（省エネ換気を実現）




需要が急伸している中国市場の開拓と欧米拡販
家電フィルターおよびキャビンフィルターに次ぐ『フィルター事業の第3の柱』へと成長を目指す





特殊薄葉紙の特長

- ・非常に薄い ⇒ 高い熱交換率
- ・高透湿性 ⇒ 高い湿度交換率
- ・高密度 ⇒ 高い空気遮蔽性

領域	考えられる用途	特長	中計前半の取り組み	中計期間中の目標
導電性 フィルム	 タッチパネル	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大型タッチパネル対応の銀メッシュフィルム 	<ul style="list-style-type: none"> ・部材としてメッシュフィルム単独提供から、センサフィルム製品、モジュール製品としての販売を提案 ・プロジェクタースクリーン彩美sとの組合せでモジュール化しての販売を提案 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 既存販売先の受注増、新規先拡大 ⇒ タッチパネルモジュールに加え、デバイスの製作まで可能とした工房を設置し、顧客ニーズを取り込み拡販
感光性 レジスト	 金属のエッチング加工例	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高い耐性と密着力 ▶ レジスト層を剥離する際に剥離片が溶解 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンドブラスト用、エッチング用ドライフィルムレジストは電子部品製造用途で量産採用 ・高解像度、耐薬品を新規開発 ・新ソルダーレジスト層形成システムの海外展開に取組み、台湾で受注 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 開発品の上市、販売の拡大 ⇒ 高速プロセッサ用途、通信用途での実用化・販売の拡大 ⇒ 海外市場への展開
医療関連 製品	 アイススティック	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 医療ニーズから生まれたニッチ商品 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アイススティック」（摂食嚥下訓練マッサージ棒） ・「フォルディアジェル」（フットケア時の研磨カス飛散防止用ジェル） ・「ダイヤクールギア」（瞬間冷却パック）、の3品目を上市 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 上市した商品については、関連学会、医療関係者コミュニティを通じて知名度を向上させ拡販 ⇒ 新たな医療ニーズに基づく医療機器の開発を進め、製品ラインアップをさらに拡充

領域	考えられる用途	特長	中計前半の取り組み	中計期間中の目標
EV向け セパレータ	 リチウムイオン電池	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 高い安全性 ➢ 耐熱性 ➢ 電池寿命 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国大手EVメーカーでの採用評価（試作電池評価）が進行中 	⇒ 電気自動車（EV）向けに無機塗工層を設けた安全性の高いポリエステルセパレータ(NanoBaseX)を供給
カーボン ナノチューブ 関連	 CNT塗布シート	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 高導電性 ➢ 高熱伝導性 	<ul style="list-style-type: none"> ・高濃度CNT分散液が、ヒーター部材用途で採用され販売を開始 ・CNTで染めた導電性糸と、それを用いたヒーター用途の織布を上市 	⇒ CNTの高濃度分散技術を活かした加工品（塗工シート、成型膜、染糸、織布）を拡充し、商品化
セルロース繊維 強化樹脂	 ペレット形状	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 天然セルロース繊維を利用した成形材料 ➢ 軽量化、高強度 ➢ 商品名：セルロミックス 	<ul style="list-style-type: none"> ・最適配合、効率的な生産方法の確立 ・成形メーカーなどへのサンプル提供 	⇒ 自動車部品、電機電子部品など、成形材料として商品化
再生炭素 繊維シート	 シート形状	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 再生炭素繊維の利用 ➢ 均一性、高品位 	<ul style="list-style-type: none"> ・シート化技術の確立 ・顧客へのサンプル提供 	⇒ 導電性シート、電磁波シールド材、CFRP用強化材などへの商品化 (CFRP：炭素繊維強化プラスチック)

領域	考えられる用途	特長	中計前半の取り組み	中計期間中の目標
アプリ 開発	 観光等の情報発信 ・ビューアプリ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ AR技術を活用した革新的表示方法 ➢ 印刷データをベースに、スマホコンテンツを簡単作成 ➢ 地図、観光、出版など各種印刷物との融合 	<ul style="list-style-type: none"> ・「どこでもペーパー」アプリならびにコンテンツ管理システムを商品化（2017年8月） ・複数の自治体、印刷会社と収載コンテンツについて商談中 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 情報発信ツールとして観光・防災・広告分野での導入 ⇒ ビューアプリとして、漫画・雑誌など出版分野での導入
TOUCH CARD	 インターネット ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ➢ スマホにタッチし簡単にwebページへアクセス ➢ O2Oソリューションを提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・TOUCHCARD ソリューションサービスを商品化（2017年5月） ・オプションとして、TOUCHCARD スタンプラリーシステムを提供開始（2017年9月） 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ IJ 用 TOUCHCARD を開発 ⇒ 企業の販売促進グッズとしての展開等を図り、仕組みを活用した商品のコラボ開発 ⇒ スタンプラリーを自治体、交通系企業、アミューズメントパークに展開

本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。